

静岡県 の 農 林 水 産 業 の 概 要

特徴・取組

静岡県は東西約155km、南北約118km、約7,777km²の面積を有し、南側には太平洋に面する約500kmの海岸線を、北側には3,000m級の山々からなる山岳地帯を有している。平年値をみると、平均気温は概ね16～17℃と温暖で、降水量は1,800～2,300mmと、一般的に温暖な海洋性気候である。冬は乾燥した晴天の日が多く、雪は平地ではあまり降らない。

産業構造は、県内総生産（令和4年度：18兆2,711億円）を産業別にみると、第1次産業が1,325億円（0.7%）、第2次産業が7兆7,657億円（42.9%）、第3次産業が10兆2,139億円（56.4%）となっている。

農業では、代表的な農産物である茶とみかんのほかにも温室メロンやいちご、ガーベラ等、多種多様な農産物が栽培されている。林業では、天竜川流域のスギやヒノキ、伊豆地域の広葉樹林など、豊かで多彩な森林が広がり、わさびやきのこの生産も盛んである。水産業では、かつお、まぐろ、しらす、さくらえび、きんめだい、内水面でのうなぎ、にじますの養殖など、多種多様な水産物が水揚げ・生産されており、水産加工業も盛んである。

全国や海外に誇りうる価値や特長を備えた県産農林水産物を「頂（しずおか食セレクション）」として認定し、県産農林水産物の魅力を活かした新しい加工品を「ふじのくに新商品セレクション」として表彰するなど、農林水産物及びその加工品の高付加価値化を推進している。

また、静岡県マーケティング戦略の海外戦略5品目（茶、いちご、わさび、温室メロン、日本酒）を中心とした県産品の輸出促進に取り組んでいる。

- ・世界農業遺産として、平成25年5月に「静岡の茶草場（ちゃぐさば）農法」、平成30年3月に「静岡水わさびの伝統栽培」が認定されている。
- ・特色ある食文化を活用して訪日外国人観光客の誘致に取り組む「SAVOR JAPAN（農泊 食文化海外発信地域）」として、大井川地域や浜松・浜名湖地域、富士山麓・伊豆半島地域が認定されている。
- ・地理的表示（GI）保護制度については、平成28年10月に「三島馬鈴薯」、平成29年6月に生の「田子の浦しらす」、令和2年11月に「西浦みかん寿太郎」、令和3年3月に釜揚げした「田子の浦しらす」、令和5年3月に「深蒸し菊川茶」が登録産品となり、令和5年11月には静岡県の清酒も登録された。

主な農林水産物

茶

県内各地に有名産地があり、様々なブランド茶が生産されている。県の海外向け重点品目。（荒茶生産量全国2位）



みかん

温暖な気候を生かした柑橘類の栽培が盛んで、青島みかんなどが栽培されている。（収穫量、出荷量全国2位）



ガーベラ（切り花類）

全国の出荷量の約4割を占める大産地。花卉が大きく華やかで色の種類や品種数が多い。（作付面積、出荷量、産出額全国1位）



わさび

わさび栽培発祥の地で、産出額は全国1位。澄んだ辛味と清らかな香りが持ち味。県の海外向け重点品目。（産出額全国1位）



温室メロン

メロンの中でも最高級品である温室メロンは収穫量日本一。ガラス温室で栽培されている。県の海外向け重点品目。（作付面積、収穫量、出荷量全国1位）



いちご

静岡県生まれの品種「紅ほっぺ」「きらび香」が主に生産されている。県の海外向け重点品目。（収穫量全国5位）



鶏卵

富士山麓地域に大規模養鶏場があり、県内における農業産出額は第1位。（産出額全国10位）



しらす

漁場と市場が近いため鮮度が良く、「生しらす」としても出荷されている。（産出額全国3位、漁獲量全国7位）



かつお・まぐろ類

遠洋漁業や沖合漁業で獲れたかつおやまぐろが水揚げされ、加工品の原料としても利用されている。（かつお類：漁獲量全国1位）（まぐろ類：漁獲量全国2位）



さくらえび

国内では駿河湾だけで漁獲される特産品である。（漁獲量全国1位）



静岡県内の各地域における農林水産物

西部地域

【農産物】茶、みかん、水稻、ガーベラ(切り花類)、ちんげんさい、セルリー、菊(切り花類)、ばれいしょ、たまねぎ、葉ネギ、かんしょ、ネーブルオレンジ、みつば、切り枝(切り花類)、切り葉(切り花類)、観葉植物(鉢もの類)

【林産物】しいたけ

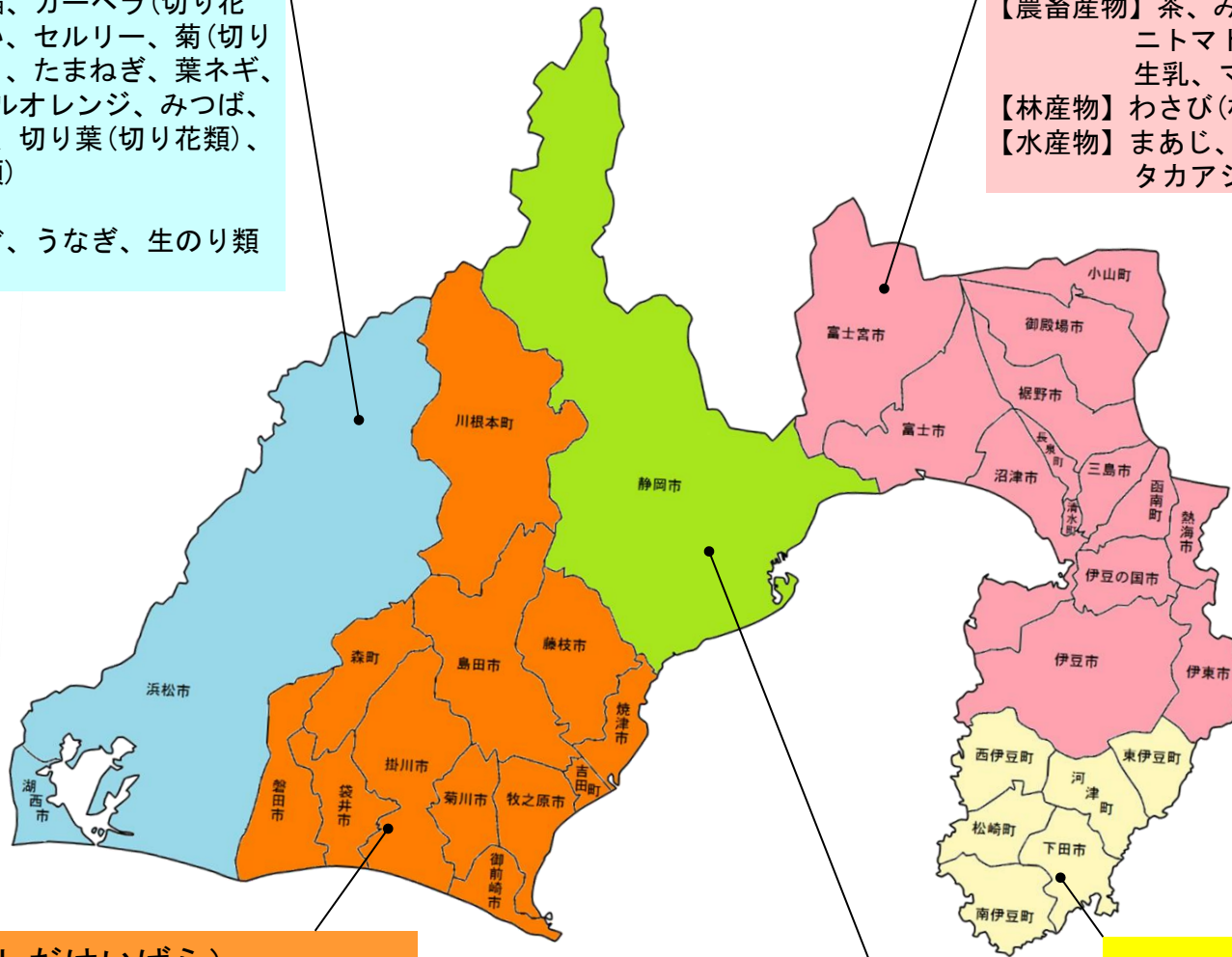
【水産物】しらす、とらふぐ、うなぎ、生のり類(養殖)

富士・東部地域

【農畜産物】茶、みかん、水稻、いちご、トマト、ミニトマト、ばれいしょ(三島馬鈴薯)、鶏卵、生乳、マーガレット(鉢もの類)

【林産物】わさび(根茎、葉柄)、しいたけ

【水産物】まあじ、まだい、にじます(養殖)、しらす、タカアシガニ



志太榛原(しだはいばら) ・中遠(ちゅうえん)地域

【農産物】茶、水稻、いちご、温室メロン、トマト、レタス、しそ、ガーベラ(切り花類)、ちんげんさい、ばら(切り花類)、トルコギキョウ(切り花類)、観葉植物(鉢もの類)、花木類(鉢もの類)

【林産物】しいたけ

【水産物】かつお、まぐろ、しらす、とらふぐ、うなぎ

中部地域

【農産物】茶、みかん、いちご、ばら(切り花類)、洋ラン類(切り花類)

【林産物】わさび(根茎、葉柄)

【水産物】まぐろ、さくらえび、しらす

賀茂(かも)地域

【農産物】マーガレット(切り花類)、カーネーション(切り花類)、ニューサマーオレンジ(日向夏)

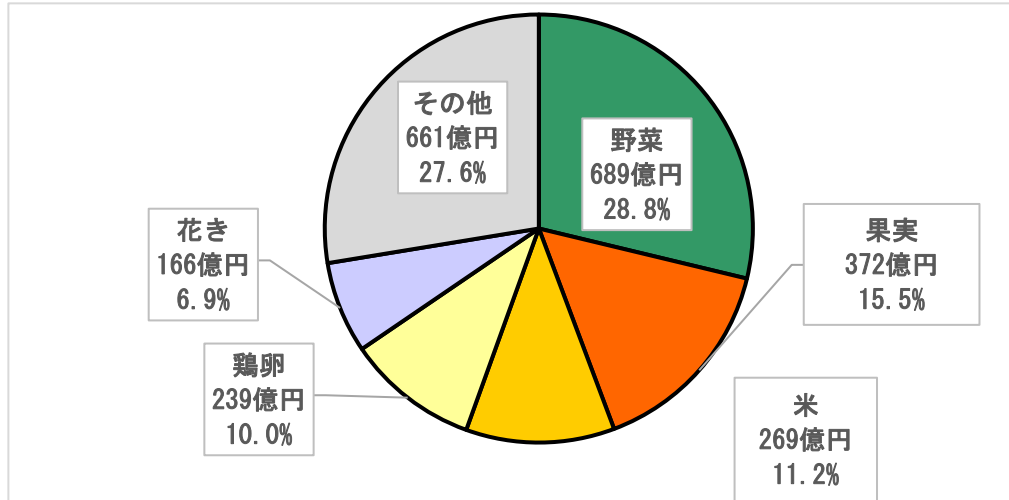
【林産物】わさび(根茎、葉柄)

【水産物】いせえび、てんぐさ、きんめだい

静岡県の農業（1）

- ・農業産出額は2,396億円で全国18位。うち米が269億円（11.2%）、野菜が689億円（28.8%）、畜産が605億円（25.3%）。
- ・農畜産物の生産状況は、ガーベラが全国1位、茶（生葉）（主産県）、茶（荒茶）（主産県）、セルリー、ちんげんさい、みかんが2位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	静岡県	全国	全国順位
茶（生葉）（主産県）	収穫量	R7 108,200 t	319,500 t	2
茶（荒茶）（主産県）	生産量	R7 24,100 t	68,000 t	2
セルリー	収穫量	R6 5,520 t	28,900 t	2
ちんげんさい	収穫量	R6 6,840 t	38,700 t	2
いちご	収穫量	R6 10,100 t	156,600 t	5
メロン	収穫量	R6 5,320 t	137,500 t	8
みかん	収穫量	R6 88,500 t	559,600 t	2
みつば	収穫量	R6 1,200 t	12,900 t	4
ガーベラ	出荷量	R6 45,800 千本	116,100 千本	1
鶏卵	生産量	R7 96,460 t	2,453,409 t	12

出典：「作物統計」、「野菜生産出荷統計」、「果樹生産出荷統計」、「花き生産出荷統計」、「畜産物流通統計」

農業産出額のデータ

区分	静岡県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	2,396 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	18
米	269 億円 (11.2)	25,524 億円 (23.7)	31
麦類	x 億円	582 億円	- *
雑穀	0 億円	87 億円	36
豆類	0 億円	621 億円	40
いも類	38 億円	2,565 億円	9
野菜	689 億円 (28.8)	25,510 億円 (23.7)	15
果実	372 億円 (15.5)	10,112 億円 (9.4)	8
花き	166 億円	3,423 億円	4
工芸農作物	115 億円	1,577 億円	4
その他作物	x 億円	583 億円	- *
畜産	605 億円 (25.3)	36,654 億円 (34.0)	16
肉用牛	91 億円	7,861 億円	24
乳用牛	122 億円	10,035 億円	11
生乳	116 億円	8,937 億円	11
豚	73 億円	7,567 億円	24
鶏	280 億円	10,170 億円	14
鶏卵	239 億円	5,764 億円	10
ブロイラー	32 億円	4,259 億円	22 *
その他畜産物	40 億円	1,021 億円	2
加工農産物	100 億円	565 億円	2

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：() は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

静岡県 の 農 業 (2)

- ・耕地面積は5万8,300haで全国22位。うち田が2万1,100ha、畑が3万7,200ha。
- ・農業経営体数は1万9,684経営体で全国20位。うち法人経営体数が786経営体で16位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は4,443経営体で全国20位。うち法人数が582法人で22位。
- ・農業生産関連事業は、農産加工の年間販売（売上）金額が623億円で全国2位、事業体数は1,100事業体で4位。

耕地面積

区 分	静 岡 県	全 国	全国順位
耕地面積	58,300 ha	4,272,000 ha	22
田	21,100 ha	2,319,000 ha	36
畑	37,200 ha	1,952,000 ha	11
普通畑	14,200 ha	1,118,000 ha	19
樹園地	21,800 ha	248,600 ha	1
牧草地	1,140 ha	585,900 ha	14
参考) 総土地面積	7,777.00 Km ²	377,979.74 Km ²	13

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区 分	静 岡 県	全 国	全国順位
荒廃農地面積	7,306 ha	256,667 ha	14

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区 分	静 岡 県	全 国	全国順位
農業経営体数	19,684 経営体	836,054 経営体	20
法人経営体数	786 経営体	33,819 経営体	16
総農家数	39,316 戸	1,394,135 戸	10
販売農家数	18,330 戸	792,808 戸	20
参考) 世帯総数	1,483,472 世帯	55,830,154 世帯	10
集落営農数	31 集落営農	13,952 集落営農	40

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区 分	静 岡 県	全 国	全国順位
担い手への集積面積	27,243 ha	2,627,068 ha	23
集積率	46.7 %	61.5 %	21

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区 分	静 岡 県	全 国	全国順位
基幹的農業従事者数	28,413 人	1,036,228 人	15
男	17,049 人	659,332 人	18
女	11,364 人	376,896 人	11
65歳以上	20,387 人	721,311 人	13
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	71.8 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	4,443 経営体	212,136 経営体	20
法人数	582 法人	29,684 法人	22
参考) 人口総数	3,633,202 人	126,146,099 人	10

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区 分	静 岡 県	全 国	全国順位	
農産加工	総額	62,264 百万円	1,006,107 百万円	2
	事業体数	1,100 事業体	26,910 事業体	4
農産物直売所	総額	44,296 百万円	1,134,381 百万円	7
	事業体数	1,000 事業体	20,960 事業体	3
観光農園	総額	1,684 百万円	39,113 百万円	8 *
	農業経営体数	140 経営体	4,350 経営体	11
農家民宿	総額	72 百万円	4,933 百万円	17 *
	農業経営体数	20 経営体	770 経営体	7
農家レストラン	総額	905 百万円	39,900 百万円	20 *
	事業体数	50 事業体	1,390 事業体	4

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

静岡県 林業

- ・林業産出額は108.5億円で全国12位。うち木材生産が38.4億円、栽培きのこ類生産が69.8億円。
- ・林産物の生産状況は、素材生産量が全国23位、わさび根茎が全国1位、まいたけが2位、わさび葉柄が3位、ぶなしめじが6位、ひのきが8位。

林業産出額

区分	静岡県	全国	全国順位
林業産出額	108.5 億円	4,769.8 億円	12
木材生産	38.4 億円	2,369.4 億円	20
栽培きのこ類生産	69.8 億円	2,322.7 億円	5

出典：「令和6年林業産出額」

林産物の生産状況

区分	静岡県	全国	全国順位
素材生産量	285 千m ³	19,763 千m ³	23
針葉樹	283 千m ³	18,398 千m ³	22
すぎ	140 千m ³	11,716 千m ³	21
ひのき	137 千m ³	3,019 千m ³	8
広葉樹	2 千m ³	1,365 千m ³	37
まいたけ	生産量 4,889 t	56,609 t	2 *
ぶなしめじ	生産量 2,998 t	117,536 t	6 *
わさび根茎	生産量 217 t	434 t	1
わさび葉柄	生産量 199 t	1,062 t	3

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

林野面積

区分	静岡県	全国	全国順位
林野面積	492,229 ha	24,744,214 ha	16
国有林	85,086 ha	7,117,059 ha	16
民有林	407,143 ha	17,627,155 ha	16
人工林面積	276,279 ha	10,059,386 ha	10

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林業経営体数

区分	静岡県	全国	全国順位
林業経営体数	549 経営体	23,300 経営体	14
法人経営体数	97 経営体	3,813 経営体	13

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

製材工場数

区分	静岡県	全国	全国順位
製材工場数	126 工場	3,547 工場	4
製材用素材の入荷があった工場数	123 工場	3,492 工場	4
国産材のみ	86 工場	3,013 工場	13
国産材と輸入材	28 工場	386 工場	3

出典：「令和6年木材統計」

静岡県の水産業

- ・ 漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は491億円で全国8位。
- ・ 水産物の生産状況は、海面漁業のきはだ、かつおが全国1位、海面養殖業のまあじが1位、内水面養殖業のにじますが1位、うなぎが4位。
- ・ 漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が6億円で全国2位、漁業経営体数は50経営体で2位。

漁業産出額

区分	静岡県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	491 億円	14,785 億円	8
海面漁業	462 億円	8,894 億円	4 *
海面養殖業	29 億円	5,891 億円	23 *

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区分	静岡県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	1,714 経営体	65,662 経営体	15
内水面漁業経営体数	101 経営体	4,076 経営体	10

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	静岡県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	3,753 人	121,389 人	12
男	3,644 人	109,757 人	9
女	109 人	11,632 人	20

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区分	静岡県	全国	全国順位
漁船隻数	2,262 隻	109,284 隻	19
動力漁船	1,390 隻	58,907 隻	18

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区分	静岡県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	160,054 t	3,589,121 t	4 *
海面漁業漁獲量	157,665 t	2,786,195 t	5
きはだ	9,413 t	45,873 t	1 *
かつお	77,023 t	241,653 t	1 *
まいわし	43,758 t	666,403 t	4
海面養殖業収穫量	2,389 t	802,927 t	24 *
まあじ	234 t	553 t	1 *
まだい	1,196 t	68,439 t	7
内水面漁業・養殖業生産量	3,180 t	47,046 t	4 *
内水面漁業漁獲量	0 t	17,915 t	41
内水面養殖業収穫量	3,180 t	29,131 t	3
にじます	1,253 t	5,202 t	1
うなぎ	1,806 t	16,674 t	4

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	静岡県	全国	全国順位
水産加工	総額	709 百万円	193,147 百万円
	事業体数	40 事業体	1,160 事業体
水産物直売所	総額	1,412 百万円	34,259 百万円
	事業体数	40 事業体	780 事業体
漁家民宿	総額	582 百万円	5,440 百万円
	漁業経営体数	50 経営体	540 経営体
漁家レストラン	総額	660 百万円	13,511 百万円
	事業体数	30 事業体	380 事業体

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

静岡県の農林水産業の話題等

海外需要を踏まえた静岡茶ブランドの構築が本格化

静岡県は、お茶の国内市場の縮小などから世界にも販路を拡大していく必要があるため、茶業関係者等と一丸となって世界で通用する「静岡茶ブランディングプロジェクト」を、昨年7月に始動、4月14日に新たなブランド「JAPAN TEA SHIZUOKA(ジャパン ティー シズオカ)」を公表した。静岡茶のプレミアム価値の向上と、歴史、茶の生産、産地多様性、製造技術など日本茶を牽引するリーディング茶産地静岡の認知拡大を目標に掲げている。プロジェクトの総合プロデューサーの佐藤可士和氏が手がけた、非常に縁起の良い「赤富士」と茶畑をモチーフとするロゴマークや公式サイト、SNSなどを活用し、茶業界一体となってブランド構築を推進する。

また、抹茶や有機茶などの拡大する海外需要に確実に対応できる生産体制の構築が急務となっていることから、茶商と生産者が連携して輸出用茶葉を計画的に生産する輸出拠点工場を認定し、生産基盤強化に取り組んでいる。

株式会社LEMONITYが、県内で初めて生産方式革新実施計画の認定取得へ

令和8年1月、株式会社LEMONITYが、県内で初めて「スマート農業技術の活用に関する法律」に基づく「生産方式革新実施計画」の認定を受けた。同社は農業法人、飲料水・食品製造事業者、食品商社の3者が共同で設立した会社で、磐田市を中心にレモンの産地拡大を進めている。また、機械化など新たな栽培体系を導入することで、レモンの持続可能な生産モデルを構築し、安定した生産環境を地域に築くことを目指している。

今回、環境モニタリングシステムで取得した土壌水分等のデータを生産者間で共有し、分析に基づいて灌水灌液システムの設定に反映させて肥裁管理を行う計画が、生産性を相当程度向上させる事業活動として認証された。同社は今後、補助事業等を活用しながら計画の実施に取り組むとともに、将来的にはスマート農業による果実の自動収穫機の導入等も視野に入れている。

気候変動対策の取組、「しずおかアボカド産地化プロジェクト」が始まる

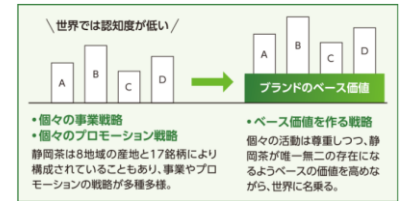
静岡県では、令和7年度から、気候変動に対応した新たな品目として期待されるアボカドの導入・産地化に向け、「しずおかアボカド産地化プロジェクト」を開始している。令和7年5月には「しずおかアボカド産地化プロジェクトキックオフフォーラム」を開催し、大学教授やアボカド栽培に取り組む生産者による事例発表や、参加者同士の交流会が行われ、産地化に向けた取組が本格的に始まった。

現在は、幼木の安定生育技術に関わる栽培試験の段階であり、令和8年度には栽培マニュアルの作成が行われる予定。令和9年度からは、生産拡大に向けた取組に移行する計画となっている。また、静岡県は、アボカド栽培に取り組んでいる生産者と連携し、果実収量を安定化させるための栽培管理技術の調査・研究を進めている。静岡県のアボカド栽培は、防寒対策や安定した着果技術等の課題が存在しており、今後も課題解決に向けた取組を進めていく。



画像提供：静岡県
※無断転載・転用禁止

(上) 静岡茶ブランディングプロジェクト発表会。



(右) 静岡茶ブランディングプロジェクトの戦略。



関東農政局静岡県拠点で開催された認定証交付式。



実施計画の模式図



キックオフフォーラムには、県内生産者や行政関係者が幅広く参加。